



図書館から学校におすすめする あたらしい本

令和元年5月
出版分(10冊)

◆◆◆ えほん ◆◆◆

小学1年生～

『字のないはがき』

向田 邦子／原作 小学館 1500円 ISBN978-4-09-726848-2

向田邦子のエッセイを低学年にもわかりやすい絵本で発行。「字のないはがき」は中学2年生の国語の教科書(光村図書)に掲載されている。疎開する小さな妹にお父さんは元気な日は「○」を書いてハガキで送るように言うが、日に日に「○」は小さくなり、最後は「×」になる。戦争時の暮らしや人々の心情が子どもにも分かるように描かれている。

『夜のあいだに』

テリー・ファン／作 ゴブリン書房 1700円 ISBN978-4-902257-37-3

ウィリアムが夜寝ている間にグリムロック通りには不思議なことがおきていた。なんと通りの木がフクロウの形になっていた。毎晩、動物の形をした木は増えていく。町の人達は様々な動物の木の元に集い楽しんだ。ウィリアムは誰が木を刈り込んでいたのか秘密を知り、自分もその庭師を手伝うようになる。絵が細部まで書き込まれており見応えがある。

小学2年生～

『ドラゴンのお医者さん ジョーン・プロクター は虫類を愛した女性』

パトリア・バルデス／文 岩崎書店 1600円 ISBN978-4-265-85130-0

女性の活躍を描いた伝記絵本シリーズ1作目。1920年代では珍しかったコモドドラゴンの研究・展示で注目をあび、ロンドン動物園で初の女性学芸員となったジョーン・ビーチャム・プロクターの話。温かみのある絵が印象的。

小学3年生～

『ナマコ天国』

本川 達雄／作 偕成社 1600円 ISBN978-4-03-437270-8

ナマコの生態や種類、料理の仕方まで幅広く紹介されている。日本人にとってナマコが昔から身近な存在だったことがよく分かる。絵もインパクトがあり、興味を持ちやすい作りになっている。子ども向けでここまで詳しいナマコの本は珍しい。

◆◆◆ フィクション ◆◆◆

小学5年生～

『たいせつな人へ』

マイケル・モーパーゴ／著 あかね書房 1300円 ISBN978-4-251-07308-2

モーパーゴが自身の叔父フランシス・カマルツの90年の生涯を幼少期から丁寧に描く。フランシスは1941年に弟が戦死したのをきっかけにナチスへの抵抗運動を続け、レジスタンスを支援した人物。戦争とは何か、平和とは何か考えさせられる物語。

中学生～

『月の光を飲んだ少女』

ケリー・バーンヒル／著 評論社 1600円 ISBN978-4-566-02463-2

主人公のルナは生まれてすぐ村の規則で魔女への生贄として森に捨てられるが、やさしい魔女に助けられ魔法を与えられる。村の不条理、悲しみの霧、大昔の魔女の話などが様々な登場人物の目線で語られる。やがて物語は全て一つに集約していく。詩と愛に縁どられたファンタジー作品。

『ソングジュの見た星 路上で生きぬいた少年』

リ ソングジュ／著 徳間書店 2000円 ISBN978-4-19-864863-3

ソングジュは北朝鮮の平壤^{ピョンヤン}で豊かな暮らしを送っていたが、11歳になった時、軍人だった父の失脚で北部の村に行くことに。そこで待ち受けていたのはひどい飢饉にあえぐ貧しい暮らしだった。両親はそれぞれ食料を求め、村を離れていく。1人取り残されたソングジュは仲間と共に路上生活を送ることになった。16才で脱北するまでの著者の体験が克明につづられている。実話の重みが胸に迫ってくる作品。

小学2年生～

『フシギなさかな ヒメタツのひみつ』

尾崎 たまき／写真・文 新日本出版社 1500円 ISBN978-4-406-06349-4

ヒメタツというタツノオトシゴの仲間の写真絵本。ヒメタツはオスがメスから卵を受け取り、受精させオスのおなかの中で卵が孵化するまで育てるといふ珍しい生き物。大きな写真で迫力があり、全ルビ表記なので低学年にも分かりやすい。「うみのかくれんぼ」の單元にも使える。

小学5年生～

『自由への道 奴隷解放に命をかけた黒人女性ハリエツト・タブマンの物語』

池田 まき子／文 学研プラス 1500円 ISBN978-4-05-204912-5

1830年代、ハリエツト・ダブマンは奴隷として少女時代を過ごし、大人になって奴隷主の元を命からがら逃亡する。その後、秘密組織「地下鉄道」で奴隷を救うリーダーになる。奴隷制度がなくなった後も、ハリエツトは身寄りのない元奴隷達を自分の家財をなげうって助けた。過酷な時代を奴隷解放に尽くし不屈の精神で生きた黒人女性の物語。

小学6年生～

『日本の元号大事典 大化から令和まで』

日本の元号大事典編集委員会／編著 汐文社 4800円 ISBN978-4-8113-2600-9

元号ごとに大きな出来事やトピックが分かりやすく紹介されている。今回の「令和」への改元理由や、その経緯、元号発表時に話題になった出典や天皇の呼称などについても分かりやすく解説されており、この1冊で日本の元号のことがよく分かる。